—知能ソフトウェア工学小特集号（英文論文誌 D）論文募集—

http://www.ieice.org/iss/kbse/journal/journal.html

知能ソフトウェア工学小特集編集委員会

情報システムは人間社会の様々な場面で必須の基盤であり，その構築・運用を支えるソフトウェア工学の重要性は現在でも変わることはありません．そして IoT や人工知能の進展がソフトウェア工学分野にも大きな影響を与え，新たな技術や研究トピックスが議論されるようになってきています．知能ソフトウェア工学研究会では，20 年以上にわたり，人工知能，知識工学，ソフトウェア工学に関する学際的な研究，さらに人間の知的活動を支える情報システムの開発に関する実用的な研究を発表し，議論する場を提供してまいりました．

こうした中，知能ソフトウェア工学研究会では，英文論文誌 D の小特集号を定期的に発行し，当該分野における研究の活性化と，得られた知見の普及・定着を図ってまいりました．本年も，人工知能，知識工学，ソフトウェア工学分野を中心としつつも，それに限定されることなく知能ソフトウェア工学研究会の活動範囲に関係した論文を広く公募し，厳正な査読の上で英文誌の論文小特集とすることを企画しました．発行は 2022 年 5 月号を予定しています．

1. 対象分野

・Knowledge technologies for semantic web ・Ontology engineering ・Ontologies and patterns in UML modeling
・Knowledge technologies for service-oriented systems(SOA), Internet of services and Internet of things(IoT)
・Architecture of knowledge-based systems, including intelligent agents and softbots
・Knowledge-based requirements engineering, domain analysis and modeling
・Knowledge engineering for process management and project management
・Intelligent user interfaces and human-machine interaction
・Methodology and tools for knowledge discovery and data mining ・Automating software design and synthesis
・Automating composition of components and services, methods to predict the properties of composites
・Knowledge-based methods and tools for testing, verification and validation, maintenance and evolution
・Decision support methods for software engineering
・Knowledge management for business processes, workflows and enterprise modeling
・Program understanding, programming knowledge, modelling programs and programmers
・Knowledge-based methods and tools for software engineering education
・Knowledge-based methods for software metrics and testing
・Application of artificial intelligence ・Application of big data ・Application of IoT
・Application software for business ・Self-adaptive systems

2. 論文の執筆と取り扱い （その他，詳細な注意事項は，学会の投稿ページをご確認ください）

通常の論文と同一とします

英文論文誌掲載の information for authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)を御参照ください． 投稿は，本会電子投稿システム https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx による電子投稿のみとします．なお登録時には必ず「Type of Issue (Section) / Transactions」で [Special-ED] Knowledge-Based Software Engineering を選択してください．[Regular-ED] や他の特集号を選択されませんよう御注意ください． Web による電子投稿の際，“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”に承諾して頂きます．

・査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります．
・採択論文が予定件数を超えた場合は，一般論文として掲載する場合があります．
・採択が決まった論文等の著者には，掲載料をお支払い頂くことになります

オープン化：2017 年 1 月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌 D のすべての論文を，J-STAGE を通じて全世界の読者へ公開しています．2020 年 1 月号以降に掲載される論文には，電子情報通信学会の多くの論文誌で適用することができるオープンアクセスオプションを適用することができなくなります．（オープン化は，2020 年 1 月以降も継続する予定です．）オープン化とオープンアクセスオプションに関する詳細は，"Information for Authors" (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい・オープン化とオープンアクセスオプションに関しては，予告なく変更されることがあります．

3. 論文投稿締切日 2021 年 5 月 10 日（月） 厳守

4. 問合せ先　KBSE 研究会(幹事)　信州大学学術研究院工学系　小形真平

e-mail: ogata@cs.shinshu-u.ac.jp

5. 小特集編集委員会

委員長　中川 博之 (阪大)

幹事　猿渡 卓也 (NTT データ), 小形真平 (信州大), 槇原 絵里奈 (同志社大)

委員　大西 淳 (立命館大), 金子 朋子(NII), 菊地 奈穂美(OKI), 木村 功作(富士通研), 粂野 文洋 (日本工大), 白銀 純子(東京女子大), 竹内広宜(武蔵大), 田辺 良則 (鶴見大), 中谷 多哉子(放送大), 深澤 良彰 (早稲田大), 山本 修一郎(名古屋大), 横川 智教 (岡山県立大), 鷲崎 弘宜(早稲田大)

6. 重要なお知らせ

＊招待論文を含むすべての著者は，論文が採録となった場合，2022 年 1 月頃に掲載料をお支払い頂くことになります．2022 年 2 月 15 日までに支払いが完了しない場合には，採録取り消しとなります．

※掲載料支払いの案内は掲載月の 4 か月前，支払期限は 3 か月前の 15 日です．

＊投稿に際しては，著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません．

必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については，投稿を受け付けないこととなりますので 御注意下さい．入会の案内はこちらを御覧下さい: http://www.ieice.org/jpn/join/index.html